

## 2021年度 事業報告書

## I. 学校・学科等の学生数の状況

## 1. 関東福祉専門学校

- (1) 所在地： 埼玉県鴻巣市中央 23 番 10 号  
 (2) 分野、課程、学科： 教育・社会福祉、専門課程、介護福祉科  
 (3) 修業年限 2 年  
 (4) 入学者 2021 年 4 月 31 名  
 卒業生 2022 年 3 月 20 名  
 (5) 学生定員・現員

2022 年 3 月 31 日現在

学年	定員	現員	差異	備考
第1学年	80	31	△49	
第2学年	80	20	△60	
合計	160	51	△129	

## (6) 学納金について

項目	金額(年額)	備考
入学金	180,000	
授業料	580,000	
施設維持費	120,000	
実験実習費	100,000	
合計	980,000	

## (7) 教職員数

学校長	教員		職員		合計		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	計
1	5	4	3	0	8	4	12

## (8) 教育目標

介護福祉の領域に関して、広く知識と技能を習得して、その分野の専門的職業家を目指し、併せて豊かな人間性を養い、社会に有用な人材を育成すること。

## (9) 教育の理念

- ① 人間性重視の教育の徹底。
- ② 医療・福祉領域から信頼される実践教育及び協調性のある人材の育成。
- ③ 地域から指示される規律ある教育及び指導。
- ④ 国際的視野で活動できる人材の育成。
- ⑤ 学生の卒業後教育体制の確立。

## II. 事業の概要

## 1. 主な事業計画及びその進捗状況

## (1) 法人としての重点事業

我が国が抱えている超高齢化社会などの人口構造問題や社会情勢の変化など複雑化するグローバル社会への対応を見据え、「次世代を担う社会に有用な人材の育成」を成すべく、学校法人恵済学園が運営する全ての教育機関を学校法人明星学園の運営にかかる教育機関に統合・連携し、もって、医療・福祉・介護の人材養成等を目的とする専門学校を構築するとともに、学校法人明星学園が運営する中等及び高等教育機関各々の機関が持つ教育力を最大限に生かすことにより、学校法人の運営と経営基盤を強化することを目的に、学校法人恵済学園と学校法人明星学園は 2021 年 1 月 25 日に学校法人明星

学園を存続法人とした合併契約書に調印を行った。これに伴い、2022年4月の法人合併に向けた行政官庁への手続き・調整等を進め、2022年4月を期日とする合併の認可承認により、学校法人恵済学園は2022年3月末をもって合併により消滅となる。2022年4月に関東福祉専門学校を設置者変更は変更に伴う手続きを速やかに行う。学校・学生の調整と共に、教職員等労働者に関する手続き等についても準備を進め2022年4月より組織再編された中で教育活動のより充実を図っていく。

## (2) 関東福祉専門学校

### ① 入学定員の確保

コロナウイルス感染拡大等ある中で、対面による広報活動を縮小せざるを得ない環境が継続され、遠隔での説明会やSNSの充実を行った。しかし、留学生の入国制限や移動制限もあり、留学生の募集は容易ではなかった。委託訓練生の確保にも力を入れ、その他社会人学生の確保にも力をいれたが、委託訓練生における介護福祉士希望者が少なく、入学生確保に苦戦している。

### ② 教育活動・学修成果

国家試験の合格率は、2021年度卒業生について全体では35%、内日本人は100%、留学生は13.3%となり、留学生の合格率を上げることが課題となっている。

### ③ 学生管理体制

近年における外国人留学生の在籍管理については、大きな社会問題となっているが、関東福祉専門学校においては、留学生担当者を配置、留学生と定期的な個人面談を行い、生活やアルバイトの状況を把握し「留学生生活状況記録簿」などに記録を行い、指導体制を整えている。また、教職員の多くがビザ更新等の支援を行える研修を修了しており、留学生支援チームを中心に教職員の資質向上を図り、これらをさらに強化している。

### ④ 日本語教育と附帯事業

関東福祉専門学校は、介護福祉科（本科）以外に実務者研修科及び各種介護職の研修事業を展開しており、今後の社会情勢を踏まえ、介護職への社会人ニーズや現職のスキルアップ寄与する研修事業はより求められることが考えられ、引き続き研修事業の充実に努める。留学生の国家試験合格率に大きくつながるのは日本語能力であり、カリキュラム事業以外に留学生を対象とした日本語授業を実施。本年度からは外部の日本語学校によるプログラムもスタートし介護福祉士に必要な日本語を中心に支援を強化に努めた。